

番号	委員名	項目	ご意見
1	坂井委員	Ⅲ-1-(1)持続可能な産業の形成	「作り手の想いや情熱などの農産物や製品のストーリーを聞くことができる機会の創出など生産者と消費者をつなぎ、 <u>身近に感じられる取組みを進めます。</u> 」の下線部分を「生産者と販売者そして消費者の関係がより深まるよう地産地消の交流拠点作りを推進します。」にし、より具体的にしたらよいと思います。
2	石澤委員	Ⅱ-1-(1)防災力の向上	災害時の避難所運営の項目に新型コロナウイルス感染防止に配慮した避難所運営訓練の実施と表現した方がよいのでは。
3	山崎委員	I-2-(2)憩いの空間づくり	江南区ではどこでも一步、外に出れば山並みを背景にすばらしい田園風景が広がりますが、現状では有効活用されているとは思えません。「取り組みの方向性」の中で区民が自然や水辺を体験できる機会の創出を図るとありますが、そこでせっかくの田園都市です。休耕田を利用したビオトープとか田園を走る自転車道など、子どもたちが気軽に安全に自然と共有できる空間を整備して頂きたい。
4	田村委員	2-(3)曾野木地区の歴史	「堤防が約110mにわたって・・・」を約200mに修正。110mの数字は、「江南区ホームページの曾川切れ記念碑」を参考とされたと思いますが、実際の記念碑には「200メートル」と記されています。(110mは、110間(約200m)の間違いか?) なお、参考に、「曾野木村の歴史」という書物には、120間(216メートル)と記されています。
5	田村委員	Ⅲ-1-(3)雇用機会の拡大	シビックプライドに「注意書き」を。「シビックプライドの意味がよくわかりません。(わたしだけでしょうか)この言葉を調べると直訳は「市民の誇り」ですが、「地域を愛し地域をよりよくするために貢献すること」で非常に良い内容の言葉と思います。区民の皆さんがより理解しやすいように「注意書き」などあればいいと感じます。
6	遠藤委員	各区のすがた	25年後の急激な人口減を問題として示しているが、第3章の各目標の取り組みの方向性であまり解決策が出されていないように思います。

番号	委員名	項目	ご意見
7	佐藤委員	表紙	まちづくり計画表紙について、今後作成していくと思いますが手に取ってみたいくなるような写真orイラストを入れたポップなものだと良いのではと思う。
8	佐藤委員	表紙・内容	分かりやすくシンプルな記載（表紙、内容）
9	中野委員	—	江南区は磐越自動車道、日本海東北自動車道、北陸自動車道(途中から関越自動車道と分岐)と3つの高速道路が交差する全国的にも珍しい場所です。それを生かしたサービスエリアを充実させ、上下路線から利用できるようにします。その利便性や住みやすさをアピールしつつ、地元住民には災害時の安心安全な避難場所として利用してもらおうという提案です。ぜひ、実現してほしいと思います。